

令和7年度 事業計画

社会福祉法人 咲福社会

令和7年度は、新たな「中期経営計画(令和7年度から令和9年度)」の初年度になります。円安、物価高の影響から、個人消費の落ち込みによる販売不振、光熱費などの価格高騰により企業運営は、今後益々厳しい状況が予想されます。そんな厳しい状況を打破すべく「中期経営計画」をはじめ「令和7年度 事業計画」を策定致しました。

現在、安定している事業運営を中期経営計画に基づき、令和7年度は経営基盤を強化する1年と位置づけます。

1. 基本理念

障害者の社会参加を支援する ～必ずある自分の役割を見つけよう～

利用者や家族・地域住民から信頼され、地域で必要とされる社会福祉法人である一人ひとりと向き合い楽しさと笑顔を大切に地域で安心して暮らせる社会の実現を目指す

2. 重点取組内容および具体策

(1) 学びの場・日中活動種類の多角化

- eスポーツの本格導入
- 清掃活動の導入

(2) 日中一時支援の提案

- 知名度の低い日中一時支援の周知と利用促進を行う

(3) ワンストップサービス(相談受付から希望施設案内、モニタリング)の提供を行う

- 相談支援事業「相談支援事業所 咲～さき～」を4月1日に開設

(4) 社会的なニーズ拡大による事業規模の拡大を行う

- 社会的ニーズに応えるため、新事業(生活介護、放課後デイ)の開設
- ファクトリーの増築と隣地購入による基盤の強化を行う

(5) DX 事務の電子化、共有化、事務の一元化による管理体制の強化を行う

- 部機能の強化による規程・マニュアルの整備
- 情報の共有化できる共有フォルダの作成
- 事務集約・電子化による一元管理

(6) 適正な人事を行う

- 各施設において、利用者に偏りのない人事配置を行う
- 人事評価制度による給与体系の見直し